

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	初読の長文読解の力が弱く、読み取りにも時間がかかる。 まとまった量の文書を書く力が弱い。	語彙力をつけるワークシート、小テストを工夫する。長文の課題図書を読ませる。 他人の作品と自分の作品を比較評価させ、説得力ある文章の構成に気づかせる。手順を踏んだ文章を書かせる。	
社会	多面的・多角的に考察し、課題解決に向けて判断する力が弱い。 諸資料から情報を効果的に収集する力に欠ける。	項目ごとに、色々な方面から考え、その考えたことをまとめて発表する場面を多く取り入れる。 資料を多く取り扱い、読み取る場面を増やす。	
数学	苦手意識が強い生徒はそれを克服する意欲が持てない。	文章から情報を読み取り、数学的に表現する面白さに気付かせる。 言語活動を取り入れ、自分の考えを論理的に説明させる。	
理科	仮説を既習事項やこれまでの生活経験上のことを結びつけて、論理的に示すことを難しく感じる生徒が多い。	学習内容と小単元（または単元のまとまり）として捉えるのではなく、幅広い分野でそれぞれリンクできるようにする。（関連付ける力の向上を目指す）	
音楽	授業規律の向上 知識・技能の習得 表現技能の向上 主体的に鑑賞する力の習得	授業内評価・声かけ 主体的に取り組めるワークシートの作成 パート内での学び合いの工夫 曲の分析・批評を引き出すワークシートの作成	
美術	集中して丁寧に作業する生徒が多いが、自ら工夫して独創的な発想をする力にやや欠ける。	発想には正解や不正解というものがないことを伝え、安心して自由に発想させる。浮かんできたアイデアを聞き、具体的なアドバイスを行う。	
保健体育	・基本的な運動技能の習得 ・深い学びへの導き ①自己分析 チーム分析力の向上	単元別評価の工夫 ➡ワークシートの充実 自己分析力の向上 ICT機器の活用	
技術家庭	授業規律の向上 学習内容の定着 実技能力の向上	(技術)先を見通した授業の進行 ワークシートの充実 確かな技能を身につけるためICT活用、机間巡視し個に応じた指示をする。 (家庭)個人活動を行わせ、家庭生活の自立に向けて実力をつける。プリント、ワークノート等を活用し技能内容の確認	
外国語	「英文を読み要点を把握する力」と「まとまりのある文章を書く力」に苦手意識をもつ生徒が多い。	・語彙力を付ける。（小テスト等を行う） ・演習問題に取り組む機会を増やす。 ・英作文の評価・講評にALTを活用する。	